

<全体分析>

試験時間

90

分

解答形式

マーク式と記述式（大問4）の併用。

分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・変化なし・**やや増加**・増加）

大問1・2・5で1,516だった総語数が、大問1・2・4[1]で1,651に微増している。

難易（易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化）

出題の特徴

大問は1題減って大問4題構成に戻っている。本格的な記述問題は30年以上出題されていなかったが、2023年度は大問4の[1]で要約問題が、[2]で和文英訳問題が出題されている。いずれも本学部では初めての出題形式である。

その他トピックス

- ・大問1では、2022年度に復活した「本文の要旨をまとめた英文中の空所を補充する問題」が引き続き出題されている。
- ・大問3では、受験生にはなじみの薄い表現も設問の対象となっており、文脈から意味を推測する能力が試されている。
- ・過去には、自由英作文（1989年度）、内容説明（1987年度）、英文和訳（1981・1982年度）などで本格的な記述問題が出題されたこともある。

＜大問分析＞

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
1	読解総合	「ロボット倫理学」 (568 words)	空所補充（連立型を含む）、文挿入、要約文の空所補充。取り組みやすい設問が中心なので、取りこぼしのないようにしたい。[5](エ)や(オ)は、消去法で考えることになるだろう。	標準
2	読解総合	「未知の世界への扉を開こう」 (738 words)	同意表現選択、空所補充、内容一致、本文中で引用される5人の発言主旨に近いものを9つの選択肢から選ぶ問題。内容が抽象的で哲学的な箇所もあり理系の受験生には読みにくい英文ではあるが、設問をうまく利用して読み進めるとよいだろう。[1]②や[2]②は、難単語が正解となっているが、消去法で正解は導き出せる。	標準
3	読解総合	対話文（留学する女性と空港に見送りに来た男の会話および渡米後の女性のメッセージ）	同意表現選択、内容一致、渡米後のメッセージの完成。[1]②の head over heels は、2014年の慶應（法）でも出題されている、会話問題で狙われやすい表現。[1]③・④は、文脈を考えれば正解は見つけやすい。[2]④には会話文中の brainiac に対応する単語が入るが、これは難単語なので、Ms. Yagami の専攻が quantum mechanics であることから出会いうる人物を判断する。Ms. Yagami は2017～2021年度に、Mr. Hiyoshi は2019～2021年度に大問3の会話問題で登場している本学部ではおなじみの人物。過去問を通して2人の関係性を理解しておくとう利な設問もある。	標準
4	その他	[1]要約 [2]和文英訳	[1]345語で書かれた英文を読み、その主旨を90～110字の日本語で述べる。段落構成や指定字数から、要約に含むべき要素は大きく分けて3点あると思われる。[2]短い日本語の文章を読み、下線部分を英語に翻訳する。「もったいない」の表現方法や、関係詞節を非制限用法で用いる点などがポイント。	やや難

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

＜学習対策＞

全体として、基本的な文法や語彙の知識、およびそれらの知識を土台とした英文の読解力が要求されている。文法や語彙についての十分な知識を身につけることに加えて、文脈に注意を払いつつ、説明文や論説文を中心にさまざまなテーマの英文を数多く読むようにしたい。また、長文読解問題の空所補充や同意表現選択の問題では、選択肢に難解な単語や表現が含まれていることがあるので、類義語・同義語に注意しながら、語彙力を拡充しておくとうい。新傾向の要約問題は、本学部の過去問がないので、多大学の類似の要約問題を活用して練習しておくとういだろう。和文英訳問題は、標準的なレベルの問題を演習しておくことで、対応する力はつけられる。